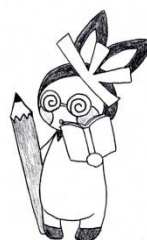
	<p>for your dream—</p> <h1>進路通信</h1> <p>平成30年度第5号</p>	<p>平成30年7月20日</p> <p>都立武蔵野北高等学校 進路部</p>
---	---	---

<3年生へ> 夏を制する者は受験を制す！

受験業界ではよく「夏を制する者は受験を制す」とか「夏は受験の天王山」とか言うが、夏休みの使い方が重要なのは言うまでもない。そこで、**3年生の学習法**をまとめておくので、駿台の人の話と合わせて確認してほしい。



■完璧に基礎を固めよ！

夏に基礎を鍛えた者が秋に向上し冬に戦える。 基礎固めが大切なのは何事においても鉄則だ。

■計画を立てて、具体的なノルマを決めよ！

例えば、問題集を何時間やるではなく、何ページまでやると具体的なノルマを決める。 ノルマが終わるまでやめてはいけない、逆に早く終われば休憩していい。何時間やるという時間のノルマよりも、はるかに効果的だ。

■具体的な目標を積み上げろ！

英単語を300、英文暗記を100文などのように具体的な目標を積み上げていこう。予定表に目標を書いて終わった箇所をマーキングするとか、使い切ったボールペンを並べてみるとか、努力の結果が目に見えるようにすることが大切だ。

■1日10時間以上、夏休みで400時間学習を目指せ！

「学習は量より質」という詭弁に惑わされるな。時間をかけて何度も学習した者こそ、真の力を身につけることができるのだ。夏休み400時間学習を目指し、達成できたら自分を褒めてあげよう！ 家族の方をお願いして褒めを貰ってもいい。目に見える報酬があれば、やる気は大幅にアップにするものだ。

■英数国は当然だが、理社も忘れずに！

英国数は覚える量が多いので、実力がついていないか実感をなかなか得られない。それに比べ、理社は学習するだけ力がつく。解ける問題が増えると、実力がついたと実感できるので、その感覚が意欲につながるのだ。

これ以外に大切なこと

「規則正しい生活と計画性のある学習を」「正確な入試情報を手に入れる」「忘れた頃に覚え直す」「成果が上がるまで3か月かかる」「2時間ごとに科目を変える。同じ教科を続けて学習しない」「センター試験レベルの完成を」等。



難関大合格に向けての五ヶ条

受験でよく言われる「合格するための五ヶ条」を紹介するので、この5ヶ条に沿った学習計画を立ててほしい。

その1：志望を下げない。 ⇒志望を下げると学力も下がる

その2：5教科7科目をあきらめない。 ⇒教科数を減らすと倍率もランキングも上がる。

その3：「現役」で行くことを前提に考える。 ⇒時代は現役有利。

その4：苦手をなくす 基礎力の徹底。 ⇒自分で自分の足を引っ張らない。

その5：授業を大切に毎日勉強する。 ⇒学校の授業を大切にする人が入試に勝つ

オープンキャンパス活用術

(1) なぜオープンキャンパスに参加すべきなのか。

大学の基本的な情報はネット上で簡単に得ることができるが、自分で実際に大学に足を運び、自分の目で見ることによって初めて得られる情報・感覚は少なくない。つまり、オープンキャンパスに参加する第一の狙いは“良いことしか書かない”パンフレットやHPでは得られない情報に接し、大学の雰囲気を実感することによって、「自分に合っているか否か」をしっかりと見きわめ、選択をすることである。

また、実際に大学のキャンパスの雰囲気を実感することで目標が明確になり、その大学に入りたいという意欲が高まり、受験勉強のモチベーションが上がるということも期待できるはずだ。

(2) オープンキャンパスで行くべき学校

「高い目標掲げる」という観点から、第一志望としている近隣の国公立大学や早慶上智・理科大などの難関私大に足を運んでみることを勧める。1年生は文系・理系1校ずつ、2年生は第一志望の大学に行くこと。

(3) オープンキャンパスのメニューと注目点

①各種説明会

説明会はオープンキャンパスの中心となる催し物である。大学の沿革に始まり、アドミッションポリシー、学部・学科の紹介、受験生が最も知りたいであろう入試についての説明も必ずある。入試の説明は、今後の科目選択に向けて重要な情報となるし、勉強の指針を見出すことにもつながるから、しっかりと活用して欲しい。



②キャンパスツアー

校舎内を巡って大学を案内してくれる催し物である。大学の施設について自分の目で確かめ、説明を聞くことができる催しとして貴重な機会になるはずだ。

③模擬授業

授業時間は通常より短く(大学の一コマは通常90分程度)、また高校生向けに興味を引くテーマを設定したり、多少わかりやすくなっていたりする場合が多い。自分が学ぼうとしている学問について、本当に興味を持って取り組めるのかを知る貴重なチャンスになるはずなので、積極的に参加してみよう。

④個別相談

各種説明会ではわからなかったところや、もっと詳しく教えて欲しいことなどを聞いてみよう。本気で第一志望にしようと考えている大学ならば、納得いくまで話を聞いてこよう。

⑤大学やそこで学びをともにする人々の雰囲気・空気

大学の雰囲気・空気をしっかりと感じ取ってくることは、オープンキャンパスに参加する最大の意義かもしれない。これは“良いことしか書かない”パンフレットやHPをくりかえし読んでも、感じ取ることはできない。

できれば、学生・教員・窓口の職員などと言葉を交わしてみよう。さらに、オープンキャンパスに参加している他の高校生についても、しっかり見ておこう。一緒に4年間を同じキャンパスで過ごして、自分を高めてくれる良き仲間になり得る雰囲気を持っているか、感じ取って欲しい。

(4) オープンキャンパスに参加する際の心得

大学への行き方や所要時間、交通費などはしっかり下調べをしておくことが必要だ。また、事前の予約が必要な場合もあるので注意しよう。

当日は、時間と交通費等の余裕を持って家を出る。そして、筆記具とオープンキャンパスの記録を片手に、説明にはしっかりと耳を傾け、学内の学生や職員と積極的に言葉を交わし、気がついたことをどんどんメモしてこよう。主体的な態度でオープンキャンパスに参加し、その大学が自分が4年間を過ごすにふさわしい場となっているか、自分を成長させてくれる場となっているか、しっかり見きわめてきてほしい。

連絡 <3年生>

7/29(日)河合マーク模試 8/30(木)河合記述模試

8/29(水)センター試験説明会2回目

文化祭や体育祭・あるいは応援団の準備で忙しいと思うが、受験では他校生や浪人生と競わねばならない。本校にいると3年生が夏休みに行事の準備に追われるのは当たり前のように感じるが、本校のような学校はそんなに多くはない。他校(特に私立)の多くでは、3年生の行事は1学期に終わると聞いている。

卒業生の合格体験記等と呼んでいると「部活や行事と学習を両立しました」という声は多い。それが事実であったとしても、「行事に打ちこみすぎて失敗した」という人がいることも忘れてはならない。行事に全力を尽くすことは素晴らしいが、**学習との両立を絶対に忘れてはならない!**



<全学年>夏期講習心得!

今年の夏期講習は昨年以上の講座が開講されている。申し込み者も多く、みんなの熱意が感じられるが、以下のことに注意してほしい。

★**勝手に休まないこと。**先生方はみんなのために事前学習をして資料を用意していることを考えてほしい。

★**講習に出れば何とかかなと思わないこと。**「わかる」と「できる」は大違い。わかったつもりでも、単に聞いた知識では自分のものにはならない。**本当の学力を身につけるには、自分の力でつかみ取ることが大切なのだ。**

★ゴミは捨てないこと。教室を汚さないこと。これは最低限のマナーだ。

3年生へ 夏休みは学校で学習しよう!

夏休み中も自習室や進路室を開放しているので、積極的に利用しよう。

一人で家に籠るのもいいけれど、みんなと一緒にならばさらにやる気はアップする。現役生の強みは集団で受験に臨めることだ。学校の講習と自習教室を利



用して、互いに切磋琢磨しよう。

閑話休題 30代で年収3000万円を実現する?!

「YUCASEE media」というサイトに興味深い記事が載っていたので紹介する。絶対に正しいとは思わないが、一つの参考にはなるはずだ。

「30代で年収3000万円の人と普通の人とで、何か劇的に違う習慣とか、あるんですか?」。これまで30代で年収3000万円の人を311人調査して、色々と深く調査してきましたが、「これが劇的に違う」と大きく言える習慣は少ないです。ただ、ゼロではありません。



30代年収3000万円の人と普通の人との間で劇的に違う習慣のなかで、最もわかりやすいことは「読書」です。

■普通の人と38倍も差がある習慣

普通の人ほとんど本を読みません。たとえば、20代30代のビジネスパーソンは1年間で平均3.1冊の本を読むという統計があります。1カ月に換算すると、0.26冊です。

その一方で、30代で年収3000万円の方は1カ月間で平均9.88冊も本を読むのです。なんとという差でしょうか。

20代30代のビジネスパーソン平均が月0.26冊で、30代年収3000万円の方の平均が月9.88冊。その差は38倍です。劇的に違う習慣といえます。

単純に平均の数字だけ見ても意味がありません。30代で年収3000万円の方の読書の実態についてもっと詳しくみていきましょう。

最初に申し上げておきたいことがあります。それは30代年収3000万円の方は読書という点において、二極化しています。

「膨大に本を読む層」と「まったく本を読まない層」です。

月に10冊以上の本を読む層が全体の39.3%。月4~9冊が17.0%。月1~3冊が27.7%。0冊が16%となっています。

一般的には月1冊以上であれば、本を読むほうだという数字でしょうから、30代年収3000万円の方の84%は普通より本を読むと言えます。もちろん、「まったく本を読まない層」も16%前後は存在します。

そのどちらがいい悪いはないようです。基本的に性格やスタイルのようです。

ちなみに「まったく本を読まない層」は本の代わりに、ものすごい数の人と会ったり、すごい数の視察をしていたり、セミナーや研修に行ったりすることで、自己投資しています。

そのため、平均が月9.88冊なのですが、「まったく本を読まない層」も含めての平均なので、読む層だけに限ると、もっと平均冊数は増えます。

(中略)

大きく違う習慣の一つである、読書という習慣。先ほど挙げた上位の数冊だけでも投資額としては、たった1、2万円。その先に広がる収入の差は、数千万円という可能性。確かに全く読まない成功者もいます。

しかし、何かしらのヒントが得られる事ができれば、投資する価値のある習慣の一つと言えるでしょう。

⇒本を読んだら確実に年収アップというわけではないが、本から様々な知識を得て損になることはない。夏休みには時間があるので、1~2年生は今うちに読書の習慣を身につけておこう。

<http://media.yucasee.jp/posts/index/13621?la=0005>より